

教務だより

2015年10月号
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

受験勉強のコツは「今をやりきる！」

茗溪塾塾長 宇野雅春

暑かった夏も昔のことになり、過ごしやすい日々になりました。中学受験 高校受験 大学受験すべてが佳境に入ってきた感じです。オープンルームや自習室の活用も増えてきました。そこで、なかなか軌道に乗っていない感じの生徒、受験生としての物足りない印象？これって何？について考えてみました。

小学生の場合、受験勉強がなかなか成果を見せないタイプの生徒は、生活の中心に「遊び」や「勉強以外のやりたいこと」があり、忙しいスケジュールの合間に勉強するので、「自分は忙しく大変！」と思うようです。中心に受験勉強があって、「遊び」や他の大切なことも含めた様々な用事をその隙間に入れていこうと考えていれば、できるだけ集中して課題をこなすことを考えるはずですが、忙しいという生徒ほど「ゲーム」や「マンガ」「TV」などには、多くの時間をさいています。スポーツやピアノ、バレエなどと両立させる生徒は集中と生活管理で乗り切っていますが、「遊び」の要素は少ないはずですが。

中学生や高校生ともなると受験学年は、それなりに頑張っているように見えていますが、「定期試験型」とでもいう目の前の試験を何とかやりこなすことだけが「勉強」という生徒も少なくありません。定期試験のない期間はズーと漠然とした生活を送り、自分から「理解」をしないまま試験直前まで来ます。

部活動の忙しさが原因かもしれませんがこのスタイルの生徒が、部活と勉強だけに明け暮れているかという点、そんなことはありません。むしろこういう生徒ほど、くつろぎや「遊び」は生活の大切な一部としてきちんと時間をとっています。気になるのは、すべての学習の場面で、「集中を欠く！」ということです。そういう生徒ほど、受験が近づくにつれて、不安が生まれ「なんで受験勉強なんてあるの？」という議論に助けを求めようになります。将来のことや今のチグハグ感に悩み始めるのですが、当然のように勉強はやっているようで身が入らず「前進」はありません。

「人生とは何か？」という問いに「自分探しの旅」と答えた生徒がいて、なるほどと思ったことがありましたが、「人生とは何か？」の答えは「今生きていること」にはかなりません。今生きているこの今が、人生ということです。

将来のための準備ではありますが、受験勉強自体が「今」であり人生なわけです。それをどうするのかは、人生をどう生きるかと同じことに思えます。今を大切にしていって、今を一生懸命やること。ちょっとしたプリントでもそれに真剣に取り組むこと。そしてそれを解決してみることで、それが「今を生きる！」ことであり、実は受験勉強のコツではないかと思うのです。